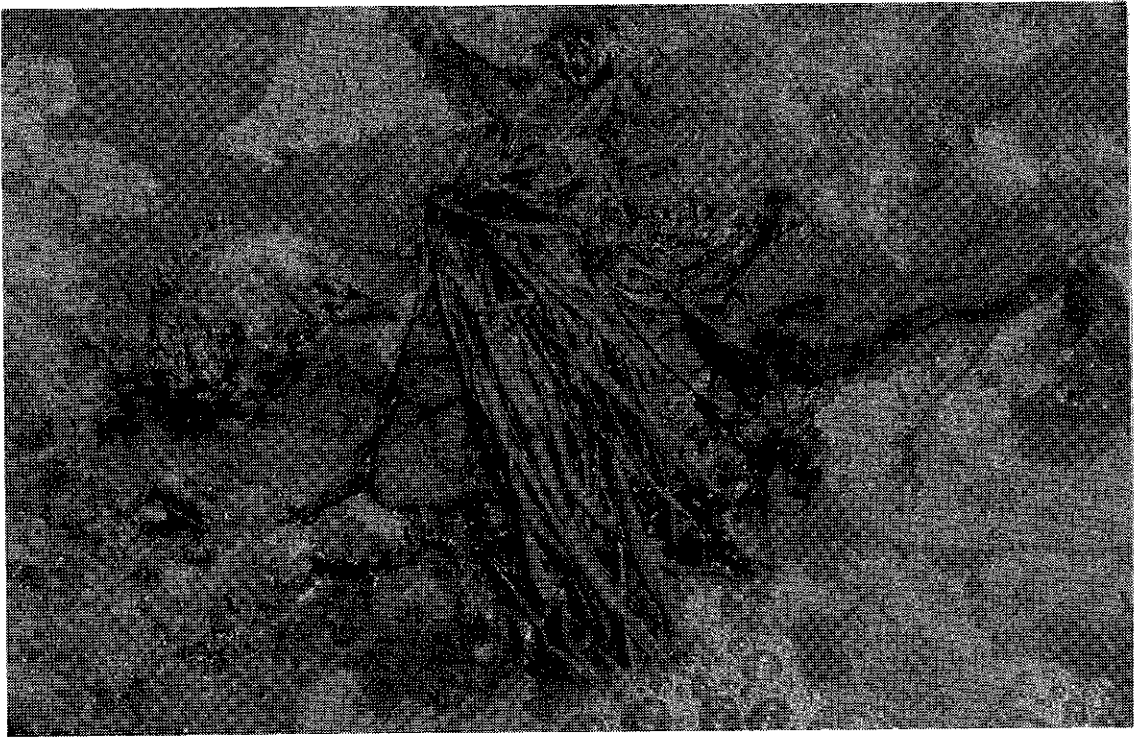


串本海中公園 マリンパビリオン

2001. 2

Vol. 30, No. 2

**カヤモノリ***Scytosiphon lomentaria* Link

体は紐のように細長く、中空で、ほぼ等間隔にくびれがある。体の直径は3 mmから1 cm位、長さは30 cm前後で、色は褐色。春先、フクロノリやカゴメノリなどと競うように潮間帯の中部から上部の岩の上、タイドプールなどに束になって生育し、その様子はワラの束を思わせる。串本地方では食用とはしないが、あぶって食用とする地方もある。写真は鯖浦地先のタイドプール内に生育していたもの。カヤモノリ科。

S. U.

ANTHOZOOLOGIA (77) 八放サンゴ類 その8

黒潮生物研究財団 岩瀬文人

前回に引き続き、チデミトサカ科の属の解説を行う。

Genus 7. *Drifa* Danielssen, 1887

群体は樹状で、主幹の下部から上端までいたる所から分枝する。群体内部の胃腔壁は薄く、少量の骨片が分布する。ポリプは枝上に一様に密生する。ポリプは共肉中に退縮せず、先太で長い棍棒形で、先端部は内側に曲がっている。ポリプには支持骨片束はない。寒海性で、北極海と北大西洋から2種が知られている。我が国には産しない。

Genus 8. *Duva* Koren & Danielssen, 1883

ヤワラトサカ属

群体は樹状で、直立した短い柄部とよく分枝したカリフラワー状 (Umbellatae 型) の冠部からなる。群体内部の胃腔壁は薄く、骨片は疎らに分布する。ポリプは特に冠部の枝先で細かく分枝した先端部に房になって分布し、多少縮むものの共肉中に退縮することはない。ポリプに支持骨片束はない。寒海性で、北極海周辺及び準深海から3種程度が知られており、我が国からは1種が知られている。

Genus 9. *Gersemia* Marenzeller, 1877

キタトサカ属

群体は樹状で、直立した柄部と分岐 (二股に分かれること)・分枝 (幹から枝が出ること) した冠部からなる。群体内部の胃腔壁は薄く、骨片がわずかに分布する。ポリプは冠部の枝上に房状に密生し、共肉中に退縮する。ポリプには支持骨片束はない。全体に骨片が少なく、柔らかい。寒海性で、極地方を中心に10種程度が知られており、我が国からは2種が知られている。

Genus 10. *Lemnalina* Gray, 1868 ウミゼリ属

群体は樹林状で、広がりのある基盤から複数の群体が立ち上がる。柄部は群体の高さの1/2を越えることが多く、円筒形で、分岐すること

がある。冠部は樹状に分岐・分枝する。群体内部の胃腔壁は薄い、針形骨片が充満して硬い。ポリプは冠部の枝上に散在または小塊をなして分布し、共肉中に退縮することはない。ポリプには支持骨片束はない。ポリプの食道部には細い針形骨片が多数分布する。触手には多数の鱗形骨片が分布する。*Lemnalioides* 属、*Paralemnalia* 属とよく似ている。紅海～インド～太平洋の浅海から30種足らずが記載されており、我が国からは2種が知られている。

Genus 11. *Lemnalioides* Light, 1914

群体は樹林状で、広がりのある基盤から複数の群体が立ち上がる。柄部は群体の高さの1/2を越えることが多く、円筒形で、分岐することがある。冠部は樹状に分岐・分枝する。群体内部の胃腔壁は薄い、針形骨片が充満して硬い。ポリプは冠部の枝上に散在または小塊をなして分布し、共肉中に退縮することはない。ポリプには支持骨片束はない。ポリプの食道部には骨片は分布しない。触手の骨片はごくわずかに散在するか、または分布しない。*Lemnalia* 属、*Paralemnalia* 属とよく似ている。フィリピンの浅海から *Lemnalioides kukenthali* 1種のみが知られている。

Genus 12. *Litophyton* Forskål, 1775

ヌメリトサカ属

群体は樹状または叢状で、短い直立した柄部と指状または円筒状の分岐した冠部からなる。群体は多肉質で、その表面は非常に滑らかで柔らかい。群体内部の胃腔壁は薄く、骨片がわずかに分布する。ポリプは冠部の枝上に穂状に分布する。ポリプは共肉中に退縮せず、支持骨片はない。インド～太平洋や南アフリカから20以上の種が知られており、我が国からも2種が知られている。

Genus 13. *Neospongodes* Kükenthal, 1903

群体は樹状。群体内部の胃腔壁は非常に厚く、

骨片がぎっしり詰まっていたりあたかも群体の軸をなしているかのような様相を呈する。ポリプは枝上に散在するか塊になって分布し、支持骨片束がある。西大西洋の浅海から 5 種が知られており、我が国には産しない。

Genus 14. *Paciphyton* Williams, 1997

群体は細長い柄部と、その末端に数本の枝が生じてできた房状の冠部からなる。柄部の断面を見ると、中心部に薄くて骨片の分布しない胃腔壁を持つ胃腔が集まり、周縁部には厚くて骨片がぎっしり詰まった共肉がある。ポリプは冠部の枝上に散在し、共肉中に退縮せず、支持骨片束はない。沖縄から *Paciphyton bollandi* 1 種のみが知られている。

Genus 15. *Paralemnalia* Kükenthal, 1913

ウミワラビ属

群体は硬い共同の基部から複数の指状の突起が立ち上がり、各突起は柄部で分岐することがある。群体内部の胃腔壁は厚く、多数の骨片が充満している。ポリプは分枝した冠部全体に様に単立散在し、支持骨片束はない。伸長すると長さ 10mm を超える細長いポリプは、収縮すると共肉上に疣状に盛り上がる程度にまで短くなるが、共肉中に完全に退縮することはない。ポリプの食道部には細い針形骨片が多数分布する。触手には多数の鱗形骨片が分布する。*Lemnalia* 属、*Lemnalioides* 属とよく似ている。紅海～インドー太平洋海域から 5 種が知られており、我が国からは 1 種が知られている。

Genus 16. *Paraspongodes* Kükenthal, 1896

ウミツグ属

群体は樹状で *Dendronephthya* 属によく似ている。群体内部の胃腔壁は薄く、骨片が散在する。ポリプは冠部全体に散在、あるいは束になって分布する。ポリプは共肉中に退縮せず、ポリプの背側に支持骨片束に似た大きな骨片の列があるが、この骨片はポリプ頂部から突出することはない。インドー太平洋の浅海域から 7 種が知られており、我が国からは 4 種が知られている。

Genus 17. *Pseudodrifa* Utinomi, 1961

群体は小さな灌木状で、短い柄部と分枝した

冠部からなる。ポリプは冠部の小枝上に穂状に分布し、共肉中に退縮しない。個々のポリプは大きくて棍棒形をしており、ポリプ壁には細長い骨片が密集してできた明瞭な 8 本の畝がある。支持骨片束はない。フロリダからグリーンランドにいたる北西大西洋から 3 種が知られているが、我が国には産しない。

Genus 18. *Scleronephthya* Studer, 1887

群体は樹状で、短い柄部と繰り返し分岐した枝でできた冠部からなる。群体内部の胃腔壁は、主幹では厚くて骨片が密集しているが、小枝では薄くなって骨片は枝の表面付近に密集している。ポリプは枝上に散在するか小さな塊になって分布し、共肉中に退縮せず、支持骨片束はない。*Capnella* 属と *Lemnalia* 属の中間の特徴を持つ属。紅海～インドー太平洋の浅海から 10 種足らずが知られており、我が国からも 1 種が知られている。

Genus 19. *Stereonephthya* Kükenthal, 1905

ハナトサカ属

群体は灌木状で、非常に短い柄部から細かく分枝する複数の枝が出て冠部を形成する。群体内部の胃腔壁は薄く、骨片は少ない。ポリプは冠部全体に散在する。ポリプは共肉中に退縮せず、支持骨片束がある。主として太平洋の浅海域から 30 種程度が知られており、我が国からは 4 種が知られている。

Genus 20. *Umbellulifera* Thomson & Dean, 1931

群体は細長い柄部と、その末端に数本の枝が生じてできた房状の冠部からなる。群体内部の胃腔壁は薄く、骨片は少ないかあるいは全く分布しない。冠部の枝は樹状に分枝し、ポリプはその末端部に分布し、冠部全体としてカリフラワー状(*Umbellatae* 型)になる。ポリプは共肉中に退縮せず、ポリプの背側には支持骨片束に似た大きな骨片の列はあるが、この骨片はポリプ頂部から突出することはない。太平洋の浅海から数種が知られており、我が国からも 2 種が知られている。

チヂミトサカ科の属の解説は以上で終わり、今回は属の検索表を掲載する。

POLYCHAETOLOGICA (15) 多毛類の科の検索 13

内田 紘臣

前回後半 (Vol.29,p.70) は「科の検索表と分類体系における科の対応表」を途中まで示した。今回はその続きを以下に示す。

科の検索表と分類体系における
科の対応表(続き)

検索表の番号	分類表の番号
101. クシイトゴカイ科 Ctenodrilidae	53
101. 科 Questidae	51
102. タマシギゴカイ科 Arenicolidae	65
102. タケフシゴカイ科 Maldanidae	64
107. 科 Fauveliopsidae	58
108. 科 Sabellongidae	75
109. チマキゴカイ科 Oweniidae	66
111. ハボウキゴカイ科 Flabelligeridae	56
113. カンムリゴカイ科 Sabellariidae	68
113. ウミイサゴムシ科 Amphictenidae	67
116. カザリゴカイ科 Ampharetidae	69
117. フサゴカイ科 Terebellidae	72
117. タマグシフサゴカイ科 Trichobranchidae	70
119. ケヤリムシ科 Sabellidae	73
119. 科 Caobangiidae	74
120. カンザシゴカイ科 Serpulidae	76
120. ウズマキゴカイ科 Spirorbidae	77

科の検索表の最後にこのシリーズで用いる多毛類の分類体系をここに示す。

多毛類の分類体系による科の配列

多毛綱 POLYCHAETA

サシバゴカイ目 PHYLLODOCIDA

サシバゴカイ上科 PHYLLODOCIDACEA

1. サシバゴカイ科 Phyllodocidae
2. ウキゴカイ科 Alciopidae
3. ユメゴカイ科 Lopadorhynchidae
4. 科 Pontodoridae

5. 科 Lacydonidae

(当該上科に近縁の科)

6. 科 Iospilidae

7. オヨギゴカイ科 Tomopteridae

8. ヤムシゴカイ科 Typhloscolecidae

チロリ上科 GLYCERACEA

9. チロリ科 Glyceridae

10. ニカイチロリ科 Goniadidae

(当該上科に近縁の科)

11. コブゴカイ科 Sphaerodoridae

ゴカイ上科 NEREIDIDACEA

12. オトヒメゴカイ科 Hesionidae

13. カギゴカイ科 Pilargidae

14. 科 Antonbruunidae

15. シリス科 Syllidae

16. 科 Calamyidae

17. 科 Ichthyotomidae

18. ゴカイ科 Nereididae

シロガネゴカイ上科 NEPTYIDACEA

19. シロガネゴカイ科 Nephtyidae

20. 科 Paralacydoniidae

ウロコムシ上科 APHRODITACEA

21. コガネウロコムシ科 Aphroditidae

22. ウロコムシ科 Polynoidae

23. ホガタウロコムシ科 Polyodontidae

24. 科 Pholoididae

25. ノラリウロコムシ科 Sigalionidae

26. 科 Eulepethidae

(当該上科に近縁の科)

27. タンザクゴカイ科 Chrysopetalidae

28. スナゴカイ科 Pisionidae

ウミケムシ目 AMPHINOMIDA

29. ウミケムシ科 Amphinomidae

30. ケハダウミケムシ科 Euprosinidae

ヒレアシゴカイ目 SPINTHERIDA

31. ヒレアシゴカイ科 Spinttheridae

イソメ目 EUNICIDA

イソメ上科 EUNICACEA

32. ナナテイスメ科 Onuphidae
33. イソメ科 Eunicidae
34. 科 Hartmaniellidae
35. ギボシイソメ科 Lumbrineridae
36. ミノイソメ科 Iphitimidae
37. セグロイソメ科 Arabellidae
38. ビクイソメ科 Lysaretidae
39. コイソメ科 Dorvilleidae
(当該上科に近縁の科)
40. 科 Histriobdellidae
- ホコサキゴカイ目 ORBINIIDA
41. ホコサキゴカイ科 Orbinidae
- スピオ目 SPIONIDA
42. 科 Apisthobranchidae
43. スピオ科 Spionidae
44. 科 Trochochaetidae
45. 科 Poecilochaetidae
46. 科 Heterospionidae
- ツバサゴカイ目 CHAETOPTERIDA
47. ツバサゴカイ科 Chaetopteridae
- モロテゴカイ目 MAGELONIDA
48. モロテゴカイ科 Magelonidae
- ギボシゴカイ目 PSAMMODRILIDA
49. ギボシゴカイ科 Psammodrilidae
- ミズヒキゴカイ目 CIRRATULIDA
50. 科 Paraonidae
51. 科 Questidae
52. ミズヒキゴカイ科 Cirratulidae
- クシイトゴカイ目 CTENODRILIDA
53. クシイトゴカイ科 Ctenodrilidae
54. 科 Parergodrilidae
- ヒトエラゴカイ目 COSSURIDA
55. ヒトエラゴカイ科 Cossuridae
- ハボウキゴカイ目 FLABELLIGERIDA
56. ハボウキゴカイ科 Flabelligeridae
57. クマノアシツキ科 Acrociridae
58. 科 Fauveliopsidae
59. ウキナガムシ科 Poeobiidae
- オフエリアゴカイ目 OPHELIIDA
60. オフエリアゴカイ科 Opheliidae
61. トノサマゴカイ科 Scalibregmidae

- ダルマゴカイ目 STERNASPIDA
62. ダルマゴカイ科 Sternaspidae
- イトゴカイ目 CAPITELLIDA
63. イトゴカイ科 Capitellidae
64. タケフシゴカイ科 Maldanidae
65. タマシキゴカイ科 Arenicolidae
- チマキゴカイ目 OWENIIDA
66. チマキゴカイ科 Oweniidae
- フサゴカイ目 TERESELLIDA
67. ウミイサゴムシ科 Amphictenidae
68. カンムリゴカイ科 Sabellariidae
69. カザリゴカイ科 Ampharetidae
70. タマグシフサゴカイ科 Trichobranchidae
71. 科 Bogueidae
72. フサゴカイ科 Terebellidae
- ケヤリムシ目 SABELLIDA
73. ケヤリムシ科 Sabellidae
74. 科 Caobangidae
75. 科 Sabellongidae
76. カンザシゴカイ科 Serpulidae
77. ウズマキゴカイ科 Spirorbidae
- チビムカシゴカイ目 NERILLIDA
78. チビムカシゴカイ科 Nerillidae
- ウジムカシゴカイ目 DINOPHILIDA
79. ウジムカシゴカイ科 Dinophilidae
- イイジマムカシゴカイ目 POLYGORDIIDA
80. イイジマムカシゴカイ科 Polygordiidae
- アシナシムカシゴカイ目 PROTODRILIDA
81. アシナシムカシゴカイ科 Protodrilidae
82. ムカシゴカイ科 Saccociridae
- スイクチュムシ目 MYZOSTOMIDA
83. スイクチュムシ科 Myzostomidae
84. 科 Cystimyzostomidae
85. 科 Pulvinomyzostomidae
86. 科 Asteriomyzostomidae
87. 科 Mesomyzostomidae
88. 科 Protomyzostomidae
89. 科 Stelechopidae

以上で多毛類の科の検索表の部が終わり、次回からは本分類表の冒頭にあるサンバゴカイ科の解説から始める。

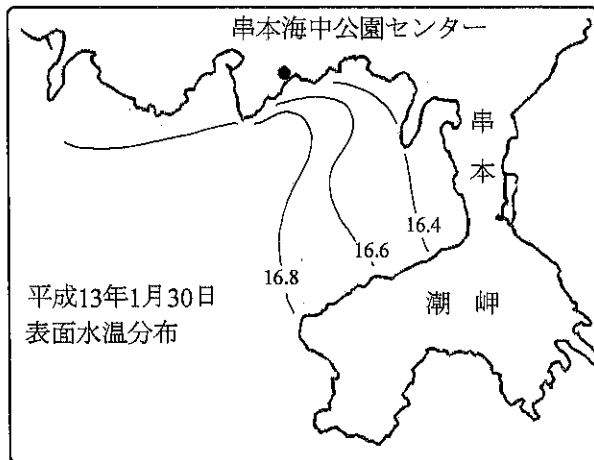
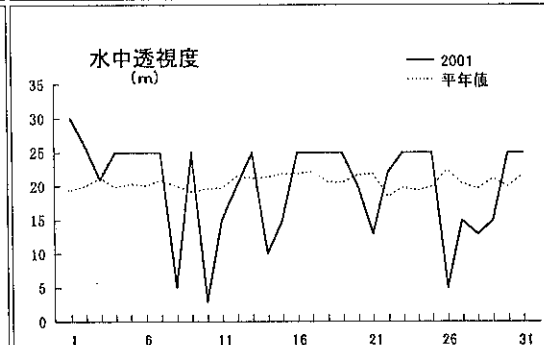
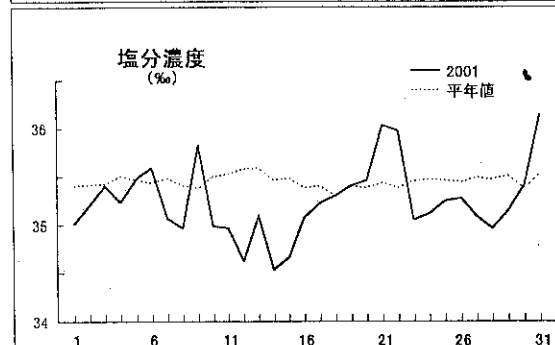
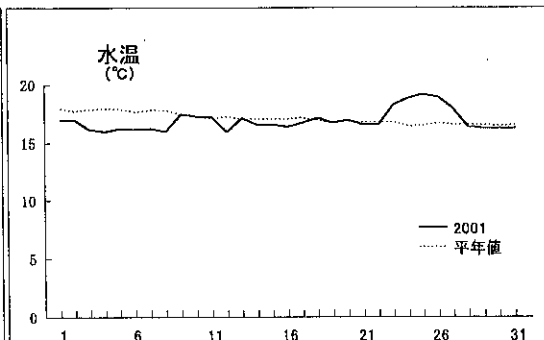
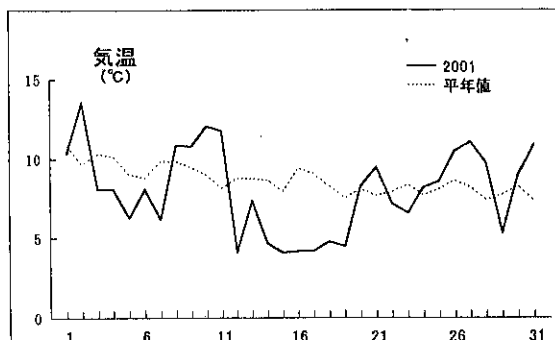
鏑浦の海から

宇井 晋介

1月	気温 8.0℃	水温 17.0℃	塩分 35.2‰
平均値	透視度 20.1 m	月間降水量 115.5 mm	

海のそばにある水族館では時に海から珍客が訪れる。北国の水族館ではアザラシなどの大型の海獣類がメスの匂いに惹かれてやって来ることがあると聞くと、当館でも過去何度か大きなウミガメが園内の港に入ってきたことがある。今年のお正月の珍客はウミネコ。最初は海中展望塔から撒かれる餌付け用の餌を拾っているだけであったが、日増しに数が増えそのうちに百羽近くにもなった。やがて「あぶれ組」が屋外にあるウミガメプールにもやって来るようにな

り、お客さんが餌を投げるやいなや水面に舞い降り、餌を取り合って水槽内で大騒ぎ。初めのうちは風情があつて良いと人気があつたが、数が増えるにつれて評価は急降下。というのも、所かまわぬ「フン公害」が深刻になってきたからだ。仕方なく餌はストップ。ほどなく群れはいずこへともなく去った。いつにない不漁と年始めからの悪天候続きで、彼らの餌も不足しがちであったのだろうか。彼らが北の海に帰ると、鏑浦の海にも本格的な春がやってくる。



マリンパビリオン Vol.30, No.2 通巻350号

一部50円 (年間購読料1,500円送料含む)

印刷日 平成13年2月20日

発行日 平成13年2月25日

郵便振替口座番号: 00990-9-41351

口座名称: 串本海中公園マリンパビリオン

編集兼発行人

〒649-3514 和歌山県西牟婁郡串本町有田1157

(株) 串本海中公園センター

電話: 0735-62-4875 FAX: 0735-62-7170

<http://www.kushimoto.co.jp/>

印刷所 坂本印刷

串本町串本2481 Tel: 0735-62-0895